学校番号	3028

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	ディベート・ディスカッションⅠ	1	第２学年	Xreading（英語教材専門店ネリーズ） Genius English Logic and Expression Ⅲ（大修館書店）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本校の授業では、最終的に英語が使えるために必要な「総合的な英語力」を伸ばす活動を多く取り入れており、「自律した英語学習者」を育てることを目標としています。そこで、以下の４領域(聞く・読む・話す・書く)に関わる学び方を我々は大切にしています。

1. 先ずは自分で調べてみる。調べ方を教師に聞く。調べても疑問が解消されない場合、教師や友人を大いに頼る。
2. 毎日少しでも英語に触れる。語学学習成功の秘訣は「学習の習慣化」ができるかどうかである。
3. 語彙力を何よりも優先して高めること。語彙力があって初めて英語学習が効果的かつ効率的になる。
4. 声に出して読む、Shadowing を習慣とする。総合的な英語力向上に効果的。
5. 読解は質より量を意識する。読めば読むほど総合的な英語力がつく。
6. 英語を英語のまま理解する。脳内で日本語に訳す習慣や、返り読みを止める。少し易しめの文章を大量に読むこと(多読)や Shadowing から身につけることができる。
7. 積極的に他者とやりとりをする。アウトプットの機会を大切にする。使わなければ、英語力は伸びない。
8. 学びあいの場を大切にする。最も記憶定着率が高く理解度が高いのは、他者に教えた、教えることができたときである。
9. 発表する機会を大切にする。誰でも最初は緊張するが、練習と場数を踏めば自信がついてくる。
10. 基本的な文法を習得し、使える表現を増やしていく。「これって英語でどう表現するのだろう」と疑問に思った際には、すぐに調べ、実際に使ってみることで自然と表現は増えていく。
11. 読書に勤しみ、日本語の力、様々な背景知識、教養を高める。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・相手の主張や理由を聞いて論旨を捉えた上で、反論の材料を探すことができる。 ・自然な速さで標準的な発音で話される会話や評論、エッセイなどの説明を聞いて、その内容を把握することができる	・評論や英語での資料などを一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを押さえながら、論理構成を意識して、全体の概要を把握することができる。 ・あるまとまった文章を辞書に頼りすぎることなく、一定の速度で読み続け、全体の概要を把握することができる。	・特定の情報や自分の考えなどについて相手に説明したり、また相手の情報や考えに対して質問したりするなど、情報交換や意見交換をすることができる。 ・様々なトピックに関して、他者の意見を聞き、自分の意見を正確に表明し、円滑に会話を進めることができる。	・興味・関心のあるトピックに関して具体的な理由を示しながら説得力をもって、賛成や反対の意見を述べることができる。 ・使える語句や表現を繋いで、自分にまつわる事柄について、話を広げながらある程度詳しく語ることができる。	・自分の意見を具体的な事例や理由を添えて論理の明確な複数の段落からなる英文で、時間をかけた修正を経て書くことができる。 ・与えられたトピックに関して、少しの時間の準備で自分の意見を明確にしながらまとまりのある英文を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点及びその趣旨)

観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	学習内容	領域	評価規準	評価方法
通年	**【Everyday classroom activities】** ・Extensive reading ・Self-introduction ・Small Talk ・Group discussion ・Brainstorm and exchange ideas ・Paragraph writing **【Debate Topics】** 1. “Which is better to have, money or time?” (Life) 2. “Do you think graffiti is vandalism or a form of art?” (Art) 3. “Taking a bath is better than taking a shower” (Culture) 4. “Technology makes people more isolated” (Science) 5. “Who are responsible for the majority of food waste, the supermarkets or the consumers?” (Food) 6. “Do you think it is better for children to grow up in the city or in the countryside?” (Urban development)	聞くこと 読むこと 話すこと（発表）	・教員とのやり取りや多読活動を通して、学校生活や日常生活、アカデミックな場で使用する語彙及び表現を習得している。 ・自分の気持ちや考えなどを即興で伝える技能を身に付けている。	・多読課題 ・スピーキングテスト
		書くこと	・与えられた議題について自分の意見を論理的に構築し、アカデミックライティングの形式に沿った論理展開や語彙、表現方法で記述する技能を身に付けている。	・ライティング課題
		話すこと（やりとり） 聞くこと	・与えられたテーマについて自分の考えを具体例と共にわかりやすい英語で表現し、ペアやグループで主体的、自律的に意見交換を行おうとする態度を身につけている。	・スピーキング課題 ・授業内活動観察 ・ディベート観察

	7. “People should be allowed to consume any animals” (Food culture) 8. “We should encourage students to take up Esports” (Esports VS Sports) 9. “Science and Technology contributed a bad impact on the environment” (Environment) 10. “Computers should replace teachers” (Education)			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度